
長野県作業療法士会学術誌 投稿規定 (2024.4)

1. 長野県作業療法士会学術誌の内容について

本誌は、長野県作業療法士会会員の学術的な研鑽や発展、および臨床における取り組みの記録を目的として発行します。ただし、他誌に発表された論文、または投稿中の論文はお断りします。

1) 投稿論文

作業療法の学術的発展に寄与する論文として「総説」「研究と実践」(以下、論文)の投稿を受け付けます。

2) 長野県作業療法士会学術大会報告論文(以下、報告論文)

長野県作業療法学術大会(以下、学術大会)で発表された演題(口述発表、ポスター発表を含む)は、演題発表年に発行の本学術誌に報告論文として掲載されます。演題発表者は本学術誌掲載用の原稿を抄録用原稿とは別に、下記投稿規定の「2. 報告論文」の規定に従って作成し、学術誌編集委員会に提出して下さい。報告論文の位置づけとしては「短報」に相当します。

また報告論文としてではなく、投稿論文として掲載することも可能です。その場合、報告論文としては提出せず、下記投稿規定の「1. 投稿論文」の規定に従って論文を作成し、学術大会発表後2か月以内に学術誌編集委員会まで提出して下さい。

なお、発表者の都合や他機関紙への投稿等により、本学術誌に掲載を望まない方は、その旨を学術大会開催までに、学術誌編集委員会(下記問い合わせ先)までご連絡ください。

2. 倫理的事項について

著者は原則として、文部科学省・厚生労働省・経済産業省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」などの医学研究に関する指針に従い、細心の倫理的注意を払い、研究対象者の個人の尊厳および人権の尊重に努め、説明と同意などの倫理的な配慮に関する記述をおこなってください。原則、所属機関等の研究倫理審査を経ている必要がありますので、倫理審査を経ている場合は倫理審査を受けたことを記載してください。倫理審査を受けていない場合は、所属長あるいは病院長が投稿を承認する必要があります。本文中に記載してください。また、対象者が投稿に同意している旨は、本文中に記載してください。

利益相反(COI)のある場合は、本文の最後(文献の前)に明記して下さい。

3. 著者について

筆頭著者は原則として長野県作業療法士会(以下、本会)の会員に限ります。共著者は本会員でなくても構いません。なお、著者の数は5名までとし、それ以上にわたる場合は謝辞の対象に入れてください。

4. 投稿論文

1) 論文の種目と長さ

論文の種目と長さの基準は以下のとおりです。

(1) 総説

特定のテーマについて、過去の研究を概観し、論評を加え、将来的展望を加える目的で書かれるもの。論文の長さは、原稿本文の文字数8,000字程度、図・表あわせて8個以内とします。

(2) 研究と実践

実験、調査、臨床経験などから得られた知見を含む結果の考察および記述を指し、症例報告、実践報告も含まれます。なお、症例報告とは症例の治療および経過などについて論理的に示し、考察をおこなったもの。また実践報告とは、作業療法の研究・教育・臨床等の実践の中で、新たな工夫や介入、結果等について具体的かつ客観的に情報提示し、その内容が有益と判断されたものを示します。論文の長さは①に準じます。

2) 投稿の手続きについて

(1) 執筆形式の確認：後述の原稿執筆要領に沿っていることを確認してください。

(2) 原稿の提出方法：長野県作業療法士会ホームページにある論文投稿のフォームに必要事項を入力して原稿を添付して送信してください。

(3) データファイル：原則として本文はMS-Word、図表はMS-Excel形式とします（Power Pointでの提出は不可）。写真を使用する場合は、デジタル画像データ（JPEG形式）で、図として作成してください。なお、図表・写真はモノクロで作成したものに限りません。提出された原稿、記録媒体等はお返しできませんのでご了承ください。

(4) 最新巻への掲載を希望する場合、

①当年学術大会での発表演題を投稿論文として提出する場合は、学術大会開催前までに下記問い合わせ先までご連絡下さい。

②その他、論文の投稿を希望される方は、随時、下記問い合わせ先までご連絡下さい。

※①、②いずれの場合も、投稿論文の提出は、当年度学術大会開催後2か月以内に上記手続きに沿って提出してください。

3) 採否について

原稿の採否は、長野県作業療法士会学術誌編集委員会で決定します。場合により、加筆、修正をお願いすることがあります。また学術誌編集委員会において字句の訂正をすることがあります。原稿は返却いたしません。なお、投稿論文は、そのテーマについて経験の深い会員に査読を依頼し、著者・査読者間で相互に情報を交換しますので、ご了承ください。

4) 別刷りの進呈について

各論文の筆頭著者に別刷り30部を進呈します。

5. 報告論文

1) 報告論文の内容

長野県作業療法学会大会で発表された内容に則したものに限り、

提出された原稿の内容が発表内容と著しく異なる場合や、学術研究論文として逸脱した内容の場合などは加筆、修正をお願いする事があります。また学術誌編集委員会の判断で学術誌掲載の採否をおこなう場合があります。

2) 報告論文提出の手続きについて

- (1) 執筆形式の確認：後述の原稿執筆要領に沿っていることを確認してください。
- (2) 原稿の提出方法：長野県作業療法士会ホームページにある論文投稿のフォームに必要事項を入力して原稿を添付して送信してください。
- (3) データファイル：原則として本文はMS-Word、図表はMS-Excel形式とします（Power Pointでの提出は不可）。写真を使用する場合は、デジタル画像データ（JPEG形式）で、図として作成してください。なお、図表・写真はモノクロで作成したものに限り、提出された原稿、記録媒体等はお返しできませんのでご了承ください。

原稿送付先および問い合わせ先

〒390-8621松本市旭3-1-1

信州大学医学部保健学科作業療法学専攻

務台 均

Tel.: 0263-37-2405 (直通)

E-mail : gakujutushi.ot.nagano@gmail.com

長野県作業療法士会学術誌 原稿執筆要領

(* 種別ごとの原稿の字数・図表・締め切り等は表1を参照ください)

1. 投稿論文

1) 表紙：冒頭に種目(総説, 研究と実践)を明記し, 表題, 著者名(5名まで, 職種が作業療法士以外の場合, 職種を表記すること), 所属, キーワード3~5個(日本作業療法士協会ホームページに掲載されている最新のキーワード集より選択することが原則ですが, キーワード集にない用語を選択する場合は, 同義語・類義語集に含まれていないことを確認後に()を付けて記載).

2) 要旨:「研究と実践」には要旨をつけてください(400字程度).

要旨は「目的」「対象」「方法」「結果」「考察」について簡潔に記載してください.

3) 本文:原稿本文の文字数は8,000字程度とします(表題, 施設名, 執筆者氏名, 文献, キーワード, 図表は本文に含めない).

4) 図・表:あわせて8個以内とします. 図・表は本文に出てくる順に, それぞれ一連の番号を付けてください. グラフィック表現および写真は図に含めます. 図の番号および表題は図の下に, 表の場合は表の上につけてください. 図・表の転載は投稿前に著者の責任で転載許可をとっておいてください. スライド図・表は投稿用に作成し直してください. 出版物やインターネット上にある図や写真を利用するのは著作権違反となりますのでご注意ください.

図表はMS-Excel形式で作成してください(Power Point形式での提出は不可). 写真を使用する場合は, デジタル画像データ(JPEG形式)で, 図として作成してください. なお, 図・表・写真はモノクロで作成したものに限り. また, 対象者の写真を用いる場合は, 個人が特定されない配慮を必ずおこなってください.

2. 報告論文

1) 冒頭に表題, 著者名(5名まで, 職種が作業療法士以外の場合, 職種を表記すること), 所属, キーワード(5個以内, キーワードの記載方法は投稿論文に準じる)を記載してください.

2) 本文:文字数2,800字程度とします(表題, 施設名, 執筆者氏名, キーワード, 図表は本文に含めない).

3) 図・表:あわせて3~5個程度とします(図・表の作成に関しては, 投稿論文に準じる).

3. その他

巻頭言:目安として原稿本文の文字数800字~1,200字程度とします.

(表題, 所属, 執筆者氏名は本文に含めない)

その他の原稿(依頼原稿等):

学術誌編集委員会にお問い合わせください.

4. 体 裁

1) 投稿論文, 報告論文の本文は原則的に以下の構成に従って記載してください.

本文と文献はMS-Word で作成し, A4 サイズ横書き40 字×40 行 (印刷の向きは縦) に書式設定し, 行頭に行番号をつけフッターにページ番号を挿入して, 文字サイズは10.5 ポイント, 書体はMS 明朝としてください. 本文は, 原則として, 目的, 方法, 結果, 考察, 結論が明らかになるように書いてください. 症例報告などでは, 「報告の目的」, 「症例紹介」, 「作業療法評価」, 「介入の基本方針」, 「作業療法実施計画」, 「介入経過」, 「結果」, 「考察」など, 以下の構成に準じた形での小見出しをつけて構成して下さい.

- ① **はじめに (序論, 緒言)**: 研究に至った背景, 研究の意義, 先行研究との関連性および研究の目的などを記述する.
- ② **対象および方法**: 第三者が追試 (再現) できるように研究の対象と介入方法を記述する. 統計解析方法, 倫理的配慮についてもあわせて記述すること.
- ③ **結果**: 研究で得られた結果を端的, 客観的に本文および図・表を用いて記述する.
- ④ **考察**: 結果から客観的根拠をもって推察されることを研究の目的を踏まえて記述する.
- ⑤ **結論 (まとめ)**: 研究の目的と成果を簡潔に総括し, 研究で不十分だった点, 将来の研究への助言などを記述する.
- ⑥ **利益相反**: COIについて記述すること.
- ⑦ **文献**: 文献リストは引用文献のみとし, 引用順に配列し通し番号をふる, 本文中および要旨文中の引用箇所には上付き数字で文献番号を記載する. 著者名は5名までを記載し, 6名以上は“他”または, “et al.”とすることを原則とし, 表記の形式は以下の例にならう.
〈書籍の場合〉著者名: 書籍名, 発行所, 発行場所, 発行年, 引用頁.
 - 1) 中村隆一, 齊藤 宏: 基礎運動学 第3版, 医歯薬出版, 東京, 1987, pp. 406-413.
 - 2) Reid J: Computer and occupational therapy. In Creek J (ed), Occupational Therapy and Mental Health. Churchill Livingstone, New York, 1990, pp. 267-288.〈雑誌の場合〉執筆者名: 題名, 雑誌名 巻: 頁 (始めの頁-終わりの頁), 発行年.
 - 1) 岩間孝腸, 原 英修: 座位保持機能未獲得な重症心身障害児の姿勢と感覚遊び刺激に対する反応. 作業療法11: 358-365, 1992
 - 2) Witt A, Cermak S, Coster W: Body Part identification in 1- to 2-year-old children. Am J Occup Ther. 44: 147-153, 1990.〈インターネットの場合〉Webページのタイトル, URL, (アクセスした日付).
 - 1) 日本作業療法士協会: 学術誌「作業療法」論文投稿に関する倫理指針.
http://www.jaot.or.jp/publication/gakujutsushi_rinri.html, (参照2012-04-27)
- ⑧ **引用・転載について**: 論文作成にあたっては, 著作権についての配慮を行って下さい. 図・表の転載に際し, 著作権者や出版社の許諾が必要な場合, その手続きは, 投稿者が責任を持つこととします.

2) 文章表現は以下の点に留意して下さい。

- ① 現代かなづかいとし、文末形式は「だ・である調」とする。数字は算用数字、数量は国際単位系記号（例；m, mm, ml, kgなど）を用いる。
- ② 句読点は「,」「.」（全角）を用いる。
- ③ 略語：略語を用いるときは初出時にフルスペルあるいは和訳を記載する。
- ④ 外国人の人名には原語を用い、活字体で明瞭に書く。
- ⑤ 特定の機器などを本文中に記載する場合は、一般名（会社名、商品名）と表記する。
例）三次元動作解析装置（O x for d Metrix社製, VICON14Q）

3) 図・表について

- ① 文字サイズは8ポイント、書体はMSPゴシックとし、MS-Excelで作成してください。学術誌の1ページを図・表の最大サイズとし、最大で横140mm×縦205mmで作成してください。長野県作業療法士会のホームページ（本要領と同じところにある）「図・表作成ガイド」を参照してください。
- ② 図は白黒で鮮明なものを準備し、そのまま製版することを想定した大きさとで作成してください。
- ③ 図・表はすべて番号とタイトルをつけ、必要があれば説明文も入れてください。番号・タイトル・説明文も図・表のサイズに含まれます。
- ④ 本文中に図・表の挿入場所を記載してください（例：…の結果を図1に示す。または…の結果を示す（図1）。など）。
- ⑤ 引用・転載の図・表は、それぞれの出典を明記してください。
- ⑥ 必要がない限り、表に縦線は使用しないでください。

表1 字数・図・表・締め切り等の一覧

種別	字数制限	キーワード制限	図・表制限	著者制限	締切
投稿論文	8,000字程度	3 - 5 個	8 個以内	5 名以内	学術大会開催後 2 か月以内
報告論文	2,800字程度	3 - 5 個	5 個以内	5 名以内	学術大会開催後 1 週間以内
巻頭言	800字～1,200字	-	-	-	学術大会開催後 2 か月以内
その他の原稿	学術誌編集委員会にお問い合わせください				

<原稿チェックリスト>

投稿時に、下記チェックポイントで再度ご確認ください。

チェック項目	チェック欄
<原稿全体>モノクロ原稿ですか（図表含めて）？ * カラーの場合，特に図表が鮮明に印刷できません。	
<原稿全体>論文の長さ，図表の数は論文種目に対して適切ですか？	
<執筆者氏名・所属>正しく記載されていますか？	
<テーマ>テーマと内容が一致していますか？	
<目的>研究目的は明確に記載されていますか？	
<倫理上の配慮>倫理上の配慮がされていますか？ * 例：図表に個人の顔や名前が写っている，などは不可です。	
<文章表現>文章表現は原稿執筆要領に沿って適切に記載されていますか？	
<図表>各図表に番号，表題はついていますか？	
<図表>本文中に図表についての記載がありますか？	
<文献>出典が下記の要領で書かれていますか？ * 書籍の場合…著者名：書籍名．発行所，発行場所，発行年，引用ページ. * 雑誌の場合…執筆者名：題名，雑誌名 巻：ページ（始め－終わり），発行年. * インターネット…Webページのタイトル，URL，アクセスした日付.	
<文献>本文中に引用順に配列されていますか？ * 本学術誌に載せる「文献」とは「引用文献」のみです。	

長野県作業療法士会学術誌 図・表作成ガイド (2022.10.8.)

1. 図・表の執筆要領

図・表の文字サイズは 8 ポイント書体はMSP ゴシックとします。学術誌の 1 ページを図・表の最大サイズとし、最大で横140mm×縦205mmで作成してください。次の点にも留意してください。

- 図（写真含む）・表は白黒で鮮明なものを準備し、そのまま製版することを想定した大きさを作成してください。
- 写真はトリミングを工夫してください。
- 図・表はすべて番号とタイトルをつけ、必要があれば説明文も入れてください。番号・タイトル・説明文も図・表のサイズに含まれます。
- 本文中に図・表の挿入場所を記載してください（例：…の結果を図1に示す。または …の結果を示す（図1）。など）
- 引用・転載の図・表は、それぞれの出典を明記してください。
- 必要がない限り、表に縦線は使用しないでください。

2. 図・表作成時の推奨事項

- 学術誌では、MS-Excelでの作成してください。1シートに1図・表としてください。
- MS-Excel 等で作成した図・表をMS-Wordに貼り付けると、データの質が低下し不鮮明になる可能性や、図・表のサイズが変わってしまう可能性があります。MS-Excelで提出してください。
- 写真やイラストなどの画像を図として提出する場合もMS-Excel に画像データを貼り付けて、図番号と図タイトルを記載してご提出ください。
- 対象者の顔に目隠しをする写真を作成する際は、必ず写真と目隠しの図形をグループ化してから、一旦その図をコピーし、形式を図（JPEG）としてシートに貼り付けたものを提出してください。編集する際に目隠しがずれるミスを防ぐためです。

3. 図・表のサイズ

- 図・表は横140mm×縦205mm以内で作成してください。（次ページ図参照）
 - 図を作成したら、実際に印刷して大きさを確認してください。
- 1) 片段サイズ（縦）横66mm以内 学術誌の誌面の右半分か左半分（図1）
 - 2) 二段サイズ（縦）横140mm以内 学術誌の二段分（図2）
 - 3) 片段サイズ（横）表の横幅が140mmを越え、縦が67mm以内の場合（図3）
 - 4) 二段サイズ（横）表の横幅が140mmを越え、縦が67mm以上の場合（図4）
- ※ 1 図は1), 2) で収まるように作成してください。
- ※ 2 表の横幅が140mmを越える場合は3), 4) のような配置となりますが、できるだけ1), 2)

で収まるように作成してください。

※3 図・表番号、タイトル、説明も図・表のサイズに含まれますのでご注意ください。

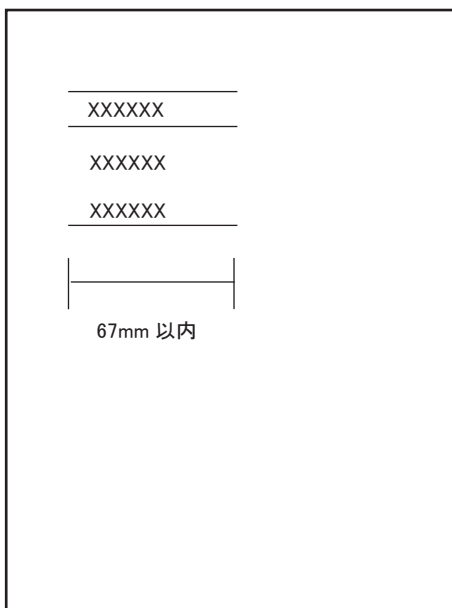


図1 片段サイズ（縦）

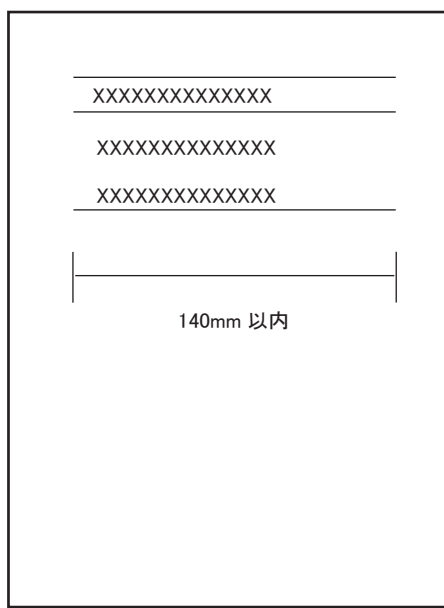


図2 二段サイズ（縦）

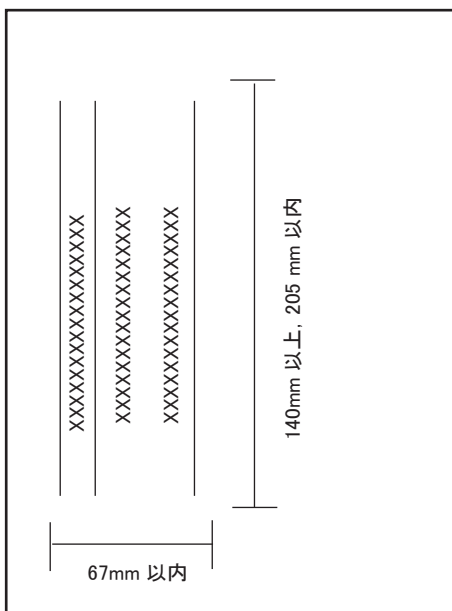


図3 片段サイズ（横）

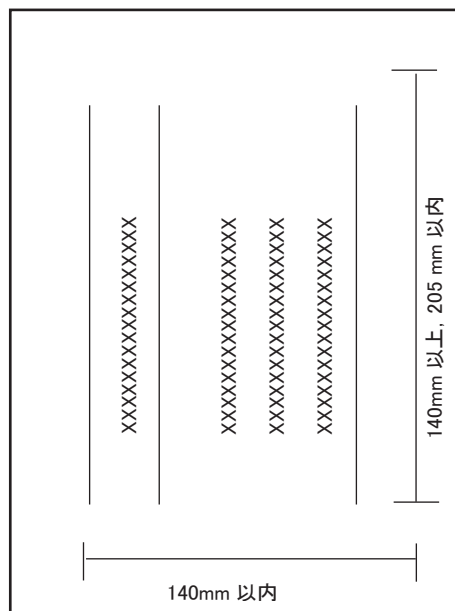


図4 二段サイズ（横）

4. 図・表作成時の注意事項

- 図・番号，タイトル，説明文もMSPゴシック8ポイントで作成してください。
- 図・表は本文をみなくても単独でも理解できるように作成してください。
- 実際印刷されたときの大きさで作成してください。必ずご自分で印刷して大きさを確認してください。（大きさは「3. 図・表のサイズ」を参照）

図について

- 写真，イラスト，図は，白黒で鮮明なものにしてください。
- 折れ線グラフでいくつかの線を用いる際に，カラーや色の濃淡ではなく，実線，破線を用いたり，線の太さを変えたり，マーカーの形を変えたりするようにしてください。MS-Excel等グラフ作成ソフトの自動設定で作成されたカラーのまま提出しないようにしてください。印刷したときに違いが分からなくなります。
- 円グラフ，棒グラフも同様に，いくつかのエリアを塗る場合に，色の濃淡やカラーを用いずに，パターンを用いてください。
- 図番号，図タイトル，説明文は図の下に配置してください。
- 図番号と図タイトルの間は全角空白スペースで区切ってください。
- 図内に略語がある場合は，必ず正式な名称を説明文に入れてください。

図の例

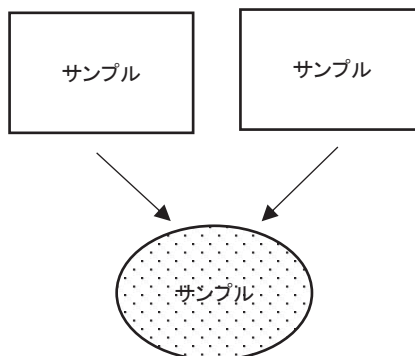


図1 図のサンプル

図中の文字，図の番号，タイトル説明文は，MSPゴシック8ポイントで作成してください。

表について

- 縦線は原則使用しないでください。
- 横線も必要最小限の使用としてください。
- 表内に略語がある場合は，必ず正式な名称を表の説明文に入れてください。
- 表番号，表タイトルは表の上に配置し，説明文は下に配置してください。
- 表番号と表タイトルの間は全角空白スペースで区切ってください。

表の例

表1 表のサンプル

サンプル	サンプル
FIM	XXXXXXX
XXXXXX	XXX

FIM: Functional Independence Measure.